**破壊と再生**

火山の噴火が危険で、とてつもなく破壊的であることは言うまでもありません。とりわけ、溶岩または火砕流（超高温ガスの雲や火山性物質）が火口から噴出すると、その通り道にある全ての草木や花を焼き尽くしてしまいます。また、火道付近の地温の上昇は根系にダメージを与え、その地域の植物相に害をもたらします。樽前山（左上）のような近年も活発な火山を見ると、このエリアの地面がどれほど焼き尽くされたのか、さらに山肌に白っぽい傷跡が残されていることがわかります。しかし、時間の経過とともに植物や低木は再生を始め、数十年後には森が戻って来ます。この国立公園の植物の多くは、遠い過去の火山活動の後に始まった長期的な再生の結果なのです。樽前山と有珠山では、今もなお森が回復を続けている様子を見ることができます。